



# 「ため込み金」を活用して 過去最高 安心・安全な鎌ヶ谷市へ

## 市民要望 **トップ5**

- 1位 生活道路の整備や排水
- 2位 国民健康保険料の引き下げ
- 3位 通学路の安全対策
- 4位 高齢者の医療費負担の軽減
- 5位 介護保険料・利用料の負担軽減

昨年秋に、共産党鎌ヶ谷市委員会が行なった「市民アンケート」で、要望が多く寄せられた項目です。



## 国保会計は毎年5億近い黒字

### 高すぎる国保料、 一人1万円引き下げを

加入世帯の約15%が滞納し、約1割の世帯に正規の保険証が交付されていません。異常な事態であり、安心して医療を受けられる対策が必要です。

「国保料、介護保険料など老人になっても負担が多すぎます。もうこれ以上は負担できません。」  
(70歳代、男性)

国保会計は、この4年間の平均でも年4億6575万円の安定した黒字を計上しています。一人1万円の引き下げに必要なお金は約3億3千万円であり、引き下げは十分に可能です。

## 生活道路の安全対策を

市民からの要望の1位は生活道路の安全対策です。交通事故の発生件数でも鎌ヶ谷市は近隣市の約2倍です。

登校中の児童・生徒が犠牲になる悲惨な事故が相次ぎ、国は2年前に全国一斉に「危ない通学路」の点検を行いました。その結果、鎌ヶ谷市では小学校9校で68箇所対策が必要だとし、順次安全対策を講ずる計画です。

### 共産党の緊急提案

- ① 電柱は民地に移設し歩道幅員を確保する
- ② 歩道のない通学路は「30分規制」にする
- ③ 交差点の信号を歩車分離に改善する

「道がガタガタすぎる。電柱が歩道の真ん中であって、歩きづらい。」  
「道が狭くベビーカーの車輪がはまってしまい毎日悪戦苦闘です。」  
「通学路が抜け道になって車がスピードを出して通っている。危険。」

### 何にでも使える「財政調整基金」

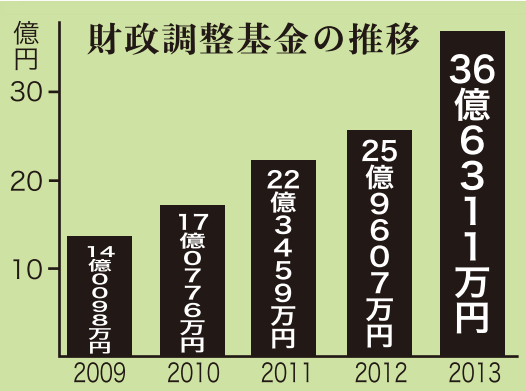
## 4年間で22億円積み立て

市が毎年公表している「決算状況（決算カード）」。  
最新の「平成25年度版」の「積立金現在高」では、  
「25年度末の積立金総額は65億9725万円で…市政  
施行以降で最高の額を確保した。」と述べています。

市の積立金の中で、使途の決まっていない自由に使える「財政調整基金」も、この4年間で22億6千万円、年に5億円以上ため込んでいます。



消費税の増税が家計を圧迫し、不況を深刻にしています。さらに市は、消費税8%への増税分を上下水道料金など公共料金に転嫁し、市民負担を強めています。基金の一部を活用するだけでも願いが実現できる施策は多くあります。税金の使い道を、くらし・福祉・教育優先の鎌ヶ谷市にするために全力でがんばります。



## 特養ホームの増設で 待機者ゼロ、雇用確保を

鎌ヶ谷市の特養ホーム待機者は407人。多くの人は入所の見通しがたちません。50人規模の特養ホームで約60人の雇用が生まれます。建設には地元業者の仕事が確保され、給食等の食材も地元で購入。地域の活性化や市の税収も増え一石三鳥の経済効果が見込まれます。

長生きを喜べる、元気な鎌ヶ谷市にしましょう。